

## 松ぼっくりクリスマスツリー作り

令和元年12月12日(木)西荒瀬コミュニティ防災センター(コミセン)にて、今年最後となる「みどりの保育園推進事業」を実施し、まつぼっくりツリー作りを行いました。参加者は西荒瀬保育園から年長さん(そら組)27名、保育園先生4名、朝日庄内森林生態系保全センター職員2名でした。

始めに保育園先生より開会のご挨拶の後、センター所長から「松ぼっくりは、木にとって大切なものなので、皆さんも大事にしてカッコいい松ぼっくりツリーを作ってください。」という話がありました。次に、園児から元気いっぱいのクロマツの歌の披露の後、センター職員より「このヨーロッパトウヒはサンタさんが住んでいる地域にあるもので、この松ぼっくりで特別なクリスマスにしましょう。」という話に耳を傾けていました。



全身を使ってクロマツの歌披露!

それが終わると保育園先生より作り方の説明があり、いよいよ松ぼっくりツリー作りにとりかかります。まずは前の机に並んだ松ぼっくりを選び、お気に入りのモールも持って、自分の班の机で飾り付けました。皆先生の説明をきちんと聞いていたからか、器用にモールを巻いていき、次に飾り付けるビーズやスパンコール等選びに入りました。

くっつきにくい部分は先生達が手伝いながら、「どのあたりにくっつけるの?」と聞くと「ここがいい!」と、自分好みのツリーを作りたいという強い思いが感じられました。友達同士でも「どこにくっつけた?」「それ可愛いね!」と楽しみながらツリー作りをしていました。



選び放題!!



ツリーからモール、飾り付け、さらに飾り付けの場所まで自分で決めて出来た松ぼっくりツリーはそれぞれの味を出しており、持ち寄って写真を撮るとクリスマス色になりました。その後、センター職員より「僕たちのみどりの保育園は今日で終わりです。近くにある自然を大切にすることを忘れずにいて下さい。」という最後の言葉と、園長先生から「今作った松ぼっくりツリーは枯れたりしないよね。お家で飾って大切にしようね。」というご挨拶で、今年最後のみどりの保育園は終了しました。



素敵なクリスマスになりますように・・・